

令和7年9月5日

保護者各位

伊仙町立糸木名小学校
校長 ○○ ○○

糸木名小学校における家庭学習 MGC の取組について(お願い)

初秋の候、保護者の皆様方におかれましては、益々御清祥のことと存じます。

さて、現在、学校現場では、児童が求められる資質・能力を身に付けていくために、「学習者主体の授業」を提案し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、児童が自分の学びをふり返ったことを基に自己調整しながら、単元や本時の目標の達成をめざす授業改善の取組を進めています。

この「学習者主体の授業」を実現し、児童がより効果的に資質・能力を身に付けていくためには、学校と家庭の連続性（一貫性）が大事であり、家庭学習においても、児童の主体的な取組が求められます。学校が全ての児童に一律の課題を課す家庭学習のみではなく、児童が自分で目標や内容、進め方等を決めて、その達成に向けて取り組む家庭学習を進めることが大切であると考えています。学習時間よりも学習の「質」を優先的に考え、「家庭学習マイゴールチャレンジ」の取り組みを進めます。

そこで、2学期以降、以下のような取組を進めていくことといたしました。保護者の皆様の御理解・御協力のほどよろしくお願ひいたします。

記

1 学校の学習の振り返りと家庭学習の自己調整

- 「授業で分からなかった問題を、家でもう一度取り組もう。」
- 「授業で疑問に思ったことを、家でもう少し詳しく調べたいな。」
- 「授業のノート（タブレット）を見ながら、もう一度内容（何を学んだか）や学び方（どのように学んだか）をふり返ってみよう。」
- ※ 担任との面談・MGCちらし等を参考に進める。

2 学校での見取りと提出について

- 授業と連動させた家庭学習（授業終末の学習課題など）について
→授業内で見取ります。
- 基礎的基本的な内容の定着を狙った学習アプリ（navima）を活用した家庭学習について
→アプリ内において取組状況を見取ります。
- 自主学習（児童の興味・関心、自分に必要な学習内容）で取り組む家庭学習について
→自学ノートやロイロノートの提出で見取ります。

3 その他

- タブレットの持ち帰りと navima の活用。タブレットに時間割保存。
- 授業時数の見直し・合同授業・オンライン授業。
- 御不明・ご不安な点がございましたら、学校まで御連絡ください。